

【専門分野】

|           |   |     |       |   |   |     |      |    |    |
|-----------|---|-----|-------|---|---|-----|------|----|----|
| 科目名       | 精神看護援助論   | 講師名 | 非常勤講師 | 学 | 2 | 履修期 | 第2学期 |    |    |
| 単 位       | 1単位   |     |       | 年 |   |     |      |    |    |
| 時間数       | 30時間 (内15時間)  |     |       |   |   |     |      |    |    |
| 授業概要      | 代表的な精神疾患の特徴を理解することによって、精神疾患を持つ対象の諸問題を理解し、その援助方法について学ぶ。  |     |       |   |   |     |      |    |    |
| 授業科目目標    | 1. 精神障害をもつ患者の安全と治療に対する看護の視点が理解できる。<br>2. 退院支援・地域生活支援の現状を理解し、看護師の役割が理解できる。   |     |       |   |   |     |      |    |    |
| 授業計画      | <p>1～2回：精神障害を持つ人とのかかわりかた</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「患者－看護師」関係の目指すこと</li> <li>2) 関係構築にあたっての基本的な態度</li> <li>3) 患者とのかかわりで起こりうることと対処</li> </ol> <p>3回：精神科病棟における事故防止・安全管理と倫理的配慮</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 精神障害を持つ人にとっての入院の意味</li> <li>2) 治療的環境の整備</li> <li>3) 事故防止・安全管理と倫理的配慮             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 精神科看護における安全管理</li> <li>(2) 病棟環境の整備 (身体抑制、隔離、暴力予防プログラムを含む)</li> </ol> </li> </ol> <p>4～5回：主な治療法と看護</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬物療法と電気けいれん療法時の看護</li> <li>2) 精神科リハビリテーション             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 精神科作業療法 (デイケアを含む)、社会技能訓練 (SST)、心理教育、精神療法</li> </ol> </li> <li>3) 看護場面における精神療法の位置づけ</li> </ol> <p>6～7回：精神障害をもつ人の地域における生活への支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域生活の再構築と社会参加             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域への移行と生活支援</li> <li>(2) 社会参加への支援</li> </ol> </li> <li>2) 精神障害を持つ人の地域生活支援の実際             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域生活支援における保健師の役割</li> <li>(2) 地域生活への移行支援</li> <li>(3) 訪問看護をととした地域生活支援</li> </ol> </li> <li>3) 災害時の精神看護             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 災害とストレス</li> <li>(2) 災害時の精神保健医療活動の基本</li> <li>(3) 被災した精神患者への支援</li> </ol> </li> </ol> <p>8回：終了試験</p> |     |       |   |   | 講義  | 講義   | 講義 | 講義 |
| 評価方法      | 筆記試験  |     |       |   |   |     |      |    |    |
| テキスト      | 1. 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論・精神保健, メヂカルフレンド社.<br>2. 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護, メヂカルフレンド社.   |     |       |   |   |     |      |    |    |
| 参考書       | 1. 宇佐美しおり・鈴木啓子：オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開 第2版, ヌーベルヒロカワ.  |     |       |   |   |     |      |    |    |
| 学生へのメッセージ | <p>人権擁護や倫理的配慮の必要性、偏見についても理解をしてほしいと思います。<br/>精神疾患をもつ対象が地域で生活していくための支援の必要性や方法を学んでほしいと思います。</p> <p>【関連科目】心理学、人間関係論、倫理学、薬理学、看護学概論、在宅療養を支える看護Ⅰ・Ⅱ、精神健康論、災害看護と国際看護</p>   |     |       |   |   |     |      |    |    |

【専門分野】

|           |   |     |       |   |   |     |      |    |    |    |
|-----------|---|-----|-------|---|---|-----|------|----|----|----|
| 科目名       | 精神看護援助論   | 講師名 | 非常勤講師 | 学 | 2 | 履修期 | 第2学期 |    |    |    |
| 単 位       | 1単位   |     |       | 年 |   |     |      |    |    |    |
| 時間数       | 30時間 (内15時間)  |     |       |   |   |     |      |    |    |    |
| 授業概要      | 代表的な精神疾患の特徴を理解することによって、精神疾患を持つ対象の諸問題を理解し、その援助方法について学ぶ。  |     |       |   |   |     |      |    |    |    |
| 授業科目目標    | 1. 精神症状を有する患者の看護が理解できる。   |     |       |   |   |     |      |    |    |    |
| 授業計画      | <p>1回：精神障害をもつ人の抱える症状と看護</p> <p>1) 精神症状の分類</p> <p>(1) 知覚障害</p> <p>(2) 思考障害</p> <p>(3) 感情の障害</p> <p>2回：双極性障害および関連障害群のある患者の看護</p> <p>1) 双極性障害の患者の看護</p> <p>2) 抑うつ患者の看護</p> <p>3回：不安症候群・不安障害のある患者の看護</p> <p>1) パニック症のある患者の看護</p> <p>強迫症および関連症群・強迫性障害および関連障害のある患者の看護</p> <p>1) 強迫性障害のある患者の看護</p> <p>4回：心的外傷およびストレス因関連障害のある患者の看護</p> <p>1) 心的外傷後ストレス障害（PTSD）のある患者の看護</p> <p>食行動障害および摂食障害群のある患者の看護</p> <p>1) 摂食障害のある患者の看護</p> <p>5～6回：統合失調症患者の看護</p> <p>1) 統合失調症の患者の看護</p> <p>7回：物質関連障害および嗜癖性障害のある患者の看護</p> <p>1) 物質誘発性障害のある患者の看護（アルコール依存）</p> <p>発達障害をもつ子どもへの看護</p> <p>1) 自閉症スペクトラム障害のある患者の看護</p> <p>2) 注意欠如・多動症のある患者の看護</p> <p>8回：終了試験</p> |     |       |   |   | 講義  | 講義   | 講義 | 講義 | 講義 |
| 評価方法      | 筆記試験  |     |       |   |   |     |      |    |    |    |
| テキスト      | 1. 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論・精神保健, メヂカルフレンド社.<br>2. 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護, メヂカルフレンド社.   |     |       |   |   |     |      |    |    |    |
| 参考書       | 1. 宇佐美しおり・鈴木啓子：オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開 第2版, ヌーベルヒロカワ.  |     |       |   |   |     |      |    |    |    |
| 学生へのメッセージ | 精神症状が、その人の日常生活にどのような影響を及ぼすかを理解していきましょう。そして、精神疾患を持つ対象の、健康的な側面についても理解できるよう頑張りましょう。<br>【関連科目】心理学、倫理学、人間関係論、薬理学、看護学概論、精神看護学概論、精神健康論、  |     |       |   |   |     |      |    |    |    |